

11. 現在までの達成度

下欄には、交付申請書に記載した「研究の目的」の達成度について、以下の区分により自己点検による評価を行い、その理由を簡潔に記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。
 <区分>①当初の計画以上に進展している。 ②おおむね順調に進展している。 ③やや遅れている。 ④遅れている。

(区分) ②おおむね順調に進展している。
(理由) 3つの項目について研究を行ったところ、微小管重合核とリン酸化シグナル関連の項目については、大きな進展が見られた。一方、セルロース微繊維の可視化については、作製した標識プローブが期待通りに機能しなかった。

12. 今後の研究の推進方策

本研究課題の今後の推進方策について簡潔に記述すること。研究計画の変更あるいは研究を遂行する上での問題点があれば、その対応策なども記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

1) GCP2/3、MZT1、微小管を異なる蛍光タンパク質で標識した3重マーカースystemを作製し、3者の相互関係を明らかにする。また、NEDD1を含むgTuRCを精製し、MZT1複合体とNEDD1複合体が別物であるかどうかを検証する。
2) リン酸化されるPHS1のアミノ酸残基を同定するとともに、PHS1を活性化する外界及び内部シグナル系を模索する。
3) セルロース可視化プローブを改良する。

13. 研究発表（平成23年度の研究成果）

※ 「13. 研究発表」欄及び「14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況」欄において記入欄が不足する場合には、適宜記入欄を挿入し、それによりページ数が増加した場合は、左端を糊付けすること。

【雑誌論文】 計(2)件 うち査読付論文 計(2)件

著者名	論文標題						
H. Motose	NIMA-related kinases 6, 4, and 5 interact with each other to regulate microtubule organization during epidermal cell expansion in <i>Arabidopsis thaliana</i>						
雑誌名	査読の有無	巻	発行年		最初と最後の頁		
Plant J.	有	67	2	0	1	1	993-1005
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)							
10.1111/j.1365-313X.2011.04652.x							

著者名	論文標題						
S. Wang	Salt stress-induced disassembly of <i>Arabidopsis</i> cortical microtubule arrays involves 26S proteasome-dependent degradation of SPIRAL1						
雑誌名	査読の有無	巻	発行年		最初と最後の頁		
Plant Cell	有	23	2	0	1	1	3412-3427
掲載論文の DOI (デジタルオブジェクト識別子)							
10.1105/tpc.111.089920							

【学会発表】 計(0)件 うち招待講演 計(0)件

発表者名	発表標題	
学会等名	発表年月日	発表場所

【図 書】 計 (0) 件

著 者 名	出 版 社				
	書 名	発 行 年		総ページ数	

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

【出 願】 計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

【取 得】 計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

<http://bsw3.naist.jp/hashimoto/>